

環境・循環基本計画(案)に関する意見公募結果

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 実施期間 令和2年11月10日(水)～11月30日(月)
- (2) 周知方法 紫波ネット、町ホームページ、ゆいっとサロン、各地区公民館で公開
- (3) 意見提出 1人から意見等をいただきました。

パブリックコメント 環境・循環基本計画（案）について
（令和2年11月10日～11月30日）

提出意見に対する町の考え方

（内容の要旨を記載しております）

意見 1

意見	町の方針・考え方
C02（二酸化炭素）の増加が気候変動を起こしている主原因という説は本当か。 2021 環境・循環基本計画について大筋では賛同いたします。しかし、C O2（二酸化炭素）の増加が気候変動を起こしている主原因という説は正しくありません。根拠のない理論に基づいて、C02 削減に励んでも効果は現れませんので、補助金が続く限り事業は永遠に続けることになります。多額の補助金、国民の血税をつぎ込み、効果の無い事業を営々と続けるのは無駄にお金、時間、労力を費やすことになるのではないのでしょうか？	C O2（二酸化炭素）の増加が気候変動を起こしている原因という議論については、環境省や I P C C をはじめとする研究機関等が発表する情報及び岩手県からの情報をもとにしているものです。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。

意見 2

意見	町の方針・考え方
補助金が無くなればC O2 削減、脱炭素は終結なのか。 町は国からの補助金が無くても、C O2 削減、脱炭素を進める方針でしょうか。例えば、基金を作って活動するなど、補助金入らずの事業を構築する必要があるのではないのでしょうか。	C O2 削減等の取り組みに対しては、従来から国からの補助金等は導入されておられません。また、基金を作った事業構築については、ご意見を今後の参考とさせていただきます。

意見 3

意見	町の方針・考え方
使用済み太陽光発電パネルの処分をどうするのか。 環境・循環基本計画に触れていない論点として、使用済み太陽光発電パネルの処分があります。太陽光発電パネルの製品寿命が約 25～30 年とされています。パネルの種類によって、鉛、セレン、カドミウムなどの有害物質が含まれており、それぞれ適切な処分方法があり、費用がかかります。放置や不適切な処分による有害物質の流出は防環境問題になります。これを防ぐ手立てについて、本計画でも言及する必用があります。	太陽光発電設備に係る資材は産業廃棄物として適切に処分されるべきものです。 本計画においては、生活の中で大量に廃棄されるごみの中には、資源としてリサイクルできるものがあることやまだまだ繰り返し使えるものがあること、そして過剰な包装を避けて、ごみを減らすことができることを啓発し、環境への負荷に配慮した、低炭素社会を目指そうとする内容になっております。

意見 4

意見	町の方針・考え方
原子力発電の建設、石油・ガス等の利益へのさらなる課税（炭素税）に対する姿勢は。 グリーンニューディール政策では、温暖化対策の一環として CO2 の排出のないクリーンエネルギーである原子力発電の建設を後押ししています。また、再生可能エネルギー等に対する財政出動の資源確保として、石油・ガスの利益にさらに課税する措置が取られています。日本は日本でエネルギーの安定供給をどうするかということを自国で考えなければなりません。極端な仮説に過ぎない CO2 イコール地球温暖化という極論に惑わされることなく、自治体として何を成すべきかをしっかり考えていただきたいと思います。	本計画では、環境創造のまちづくりの行動の方針の中で、省エネルギーを意識した暮らし方に取り組むこと、また再生可能エネルギー及び木質バイオマスの利用促進により環境負荷の低減に取り組むことについて記載したいと考えております。 原子力発電による新エネルギーの推進及び炭素税導入など関する今回のご提言については今後の参考とさせていただきます。